

アムンディ・マーケットレポート

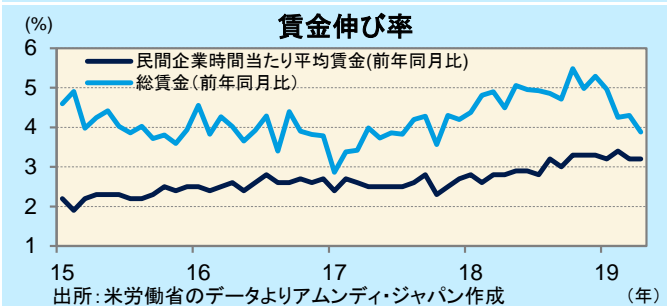
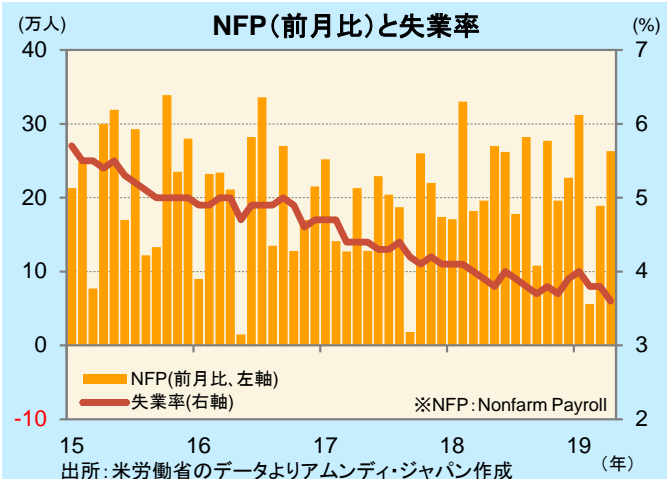
4月の米国雇用統計～金融政策スタンスと今後の雇用情勢は？

- ① 4月NFPは前月比+26.3万人と堅調でした。賃金が底堅い一方、就業者減から総賃金は鈍化しました。
- ② 景気先行的な雇用指標は今回は好調でした。趨勢はまだ横ばい圏で、増勢を取り戻すかが注目点です。
- ③ 景気重視の金融政策もあり、前半は雇用増勢が鈍化しますが、後半は持ち直すと見込まれます。

景気拡大の基盤に変化？

米労働省が発表した4月の雇用統計(速報)は、非農業部門雇用者数(NFP)は前月比+26.3万人となり、3ヵ月ぶりに20万人超の増加ペースを取り戻しました。人材派遣業の増勢回復が目立ち、雇用全般の先行指標(半年程度先行)であることから、雇用の先行きに安心感を与えます。ただし、人材派遣業の雇用者数は18年12月のピークは下回っており、さらに増加して増勢を取り戻すかが注目点です。

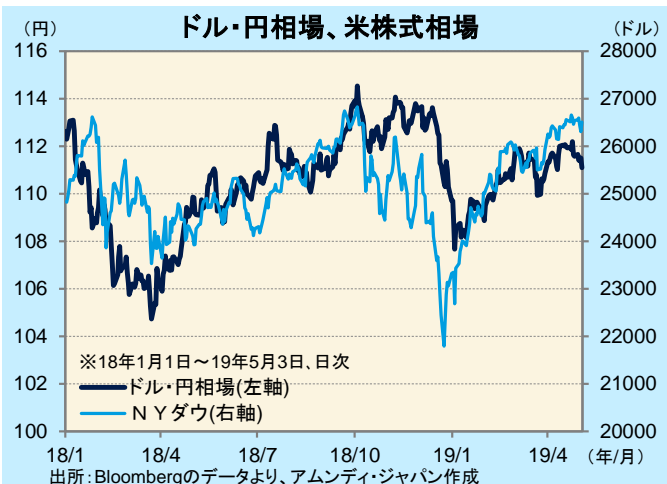
民間企業時間当たり平均賃金は前年同月比+3.2%と、依然として堅調でした。ただし、労働時間、就業者数を加味した総賃金は、18年10-12月をピークに鈍化しており、1-3月期の個人消費減速の一因になったと見られます。雇用環境は総じて良好ながら、部分的には足元の景気減速につながる動きも見られます。



金融政策の景気重視「度合い」に敏感に反応

ドル・円相場、米株式相場は、金融当局が利上げ休止と連邦準備銀行(連銀)の総資産削減停止と、スタンスが景気巡視にシフトしたことを好感し、ここまで堅調に推移してきました。

こうした中、足元では、景気重視の「度合い」に市場が神経質になっています。パウエルFRB(米連邦準備理事会)議長が利下げを指向していない旨の発言で、株価が下落した一幕がありました。景気減速が当面続くと見込まれる中、利下げへの市場の期待はくすぶると思われれます。それでも、景気重視へのスタンス変更が比較的早期に行われたこともあり、前半は雇用増勢が鈍化するものの、後半は持ち直すと考えます。



本資料のご利用に当たっての注意事項等

本資料は、アムンディ・ジャパン株式会社が投資家の皆さまに情報提供を行う目的で作成したものです。
本資料は、本資料に含まれるいかなる金融商品の販売や媒介を意図、または購入あるいは売却を勧誘する目的で作成されたものではありません。
本資料は法令に基づく開示資料ではありません。

投資信託に係る費用について

投資信託では、一般的に次の手数料・費用をご負担いただきます。その料率は投資信託によって異なります。さらに、下記以外の手数料・費用をご負担いただく場合、一部の手数料・費用をご負担いただかない場合もあります。詳細は、投資信託説明書(交付目論見書)・契約締結前交付書面をご覧ください。または、販売会社へお問い合わせください(カッコ内には、アムンディ・ジャパン株式会社が設定・運用する公募投資信託のうち、最も高い料率を記載しています。)

投資信託の購入時: 購入時手数料[最高料率3.78%(税込)]

投資信託の換金時: 信託財産留保額[最高料率0.3%]

投資信託の保有時: 運用管理費用(信託報酬)[実質最高料率2.2312%(税込)]、監査費用

運用管理費用(信託報酬)、監査費用は、信託財産の中から日々控除され、間接的に投資者の負担となります。その他に有価証券売買時の売買委託手数料、外貨建資産の保管費用、信託財産における租税費用等を間接的にご負担いただきます。また、他の投資信託へ投資する投資信託の場合には、当該投資信託において上記の手数料・費用が掛かることがあります。

※上記の費用の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することはできません。

本資料は、特定のお客様の特定の投資目的および財務状況または要望を考慮して作成されたものではありません。

本資料に記載した弊社の見通し、予測、意見等(以下、見通し等)は、本資料作成日現在のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。また、見通し等や過去の運用実績を含むいかなる内容も、将来の投資収益等を示唆または保証するものではありません。

本資料は、信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性、完全性について保証するものではありません。

本資料に記載されている内容は、全て本資料作成日以前のものであり、今後予告なしに変更される可能性があります。

弊社は、本資料に含まれる情報から生じるいかなる責務(直接的、間接的を問わず)を負うものではありません。

弊社の許可なく、本資料を複製または再配布することはできません。

リスクについて

- ・金融商品等の投資にあたっては、市場動向等、また投資信託等へ投資する場合にはその裏づけとなっている金融商品等の価格が変動することによって損失が生じるおそれがあります。
- ・金融商品等の発行者または保証会社等の業務や財産の状況に変化が生じた場合や、裏付け資産の発行者または保証会社の業務や財産の状況に変化が生じた場合、金融商品等の価格が変動することによって損失が生じるおそれがあります。
- ・デリバティブ取引においては、預託した証拠金を担保として、証拠金を上回る多額の取引を行うことがありますので、相場の変動の要因等により生じた損失の額が証拠金の額を上回る(元本超過損が生じる)ことがあります。

投資した資産価値の減少を含むリスクは、投資信託を購入のお客様が負うこととなります。

投資信託は預金、保険ではなく、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関を通じて購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の保護の対象とはなりません。

お申込みの際は、投資信託説明書(交付目論見書)・目論見書補完書面等をお渡しますので、必ず内容をご確認のうえご自身でご判断ください。

販売会社店頭へ投資信託説明書(交付目論見書)をご用意してあります。

投資信託のお取引に関しては、クーリング・オフの適用はありません。

アムンディ・ジャパン株式会社

金融商品取引業者: 関東財務局長(金商)第350号

加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会、

一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

<R1905007>